



学校だより

令和6年5月吉日

第 2 号

あきる野市立五日市中学校

校長 齋藤 弘圭

HPアドレス <http://www.akiruno.ed.jp/jh-itsukaichi/>

運動会 ～互いを尊重する仲間に～

校長 齋藤 弘圭

GWが明け、中間考査が近付いています。

学校は今、6月8日(土)の運動会に向けて、準備が進んでいます。その前に行く定期考査に向けても“段取り八分”という言葉もあるように、入念な準備を行い、実力を発揮してほしいと願っています。

さて、今年の運動会実行委員会は、委員長のO・D君、副委員長のS・S君を中心に総勢12名です。定期考査同様、準備(段取り)が大切です。練習から本番まで全校のために全力で取り組んでくれることを期待しています。

GW中のある日、YouTubeで様々な学校の運動会、体育大会を見ました。感動や悲劇を呼ぶシーンがたくさんありましたが、ある学校の動画に息をのみました。

それは、日本の学校に在学しているインドネシアの女子生徒が、大縄とびの競技中に体調不良となり、倒れてしまった時の仲間の対応です。その女子生徒は宗教上の理由から、ヒジャブ(スカーフ)で頭を覆っています。駆け寄った教員の判断で、安全確保のため緊急措置としてヒジャブを外す必要がありました。それに気付いた周りの女子生徒たちが集まり、周囲の観客たちから見えないようにするだけでなく、自分たちも外側に向かって人垣(壁)を作っていました。その人垣の数はどんどん増えていきます。ヒジャブを外す意味がどれほどのものであるかをよく知っているからこそその自主的な行動です。その自然な流れに、日頃からの互いを尊重する仲間との関係を見ました。



その自然なふるまいをみて、私の中学3年生の時の運動会を思い出しました。学級対抗リレーに出場した私は、今でも鮮明に記憶に残る大失敗をしたのです。簡単に言うとバトンを渡し損ねて落としてしまったのです。落下していくバトンは、超スローモーションで引力に従っていきました。レース後、相手に謝りながらも、ショックな状態で座席に戻ると、周りは何事もなかったかのようにしています。あえて、誰も声をかけてこなかったことが、バトンパスを失敗した私にとっては最大の配慮であることを感じました。それも、本当に自然な感じで…。



人垣を作って守る行動も、あえてあたたかくスルーしてくれる配慮も、その時の当事者にとっては、最高の対応だったに違いありません。

結果として、パスが繋がらなくとも心はつながり、大縄が止まろうとも仲間を思う気持ちは突き進むのです。

今年の五中の運動会も、どのようなドラマが生まれるのでしょうか。たとえ何があっても他者を尊重する気持ちがあれば、スローガンの“不撓不屈”を目ざすエネルギーになり、目標とする地点に到達できることでしょう。

また、本番までに人知れず陰で努力する人や、運動が苦手でありながらも決意してスタートラインに立つ人もいます。私が毎年期待することはたった一つです。競技・演技・係活動へ取り組む気持ちの自己記録を更新することです。



その記録は仲間との互いの尊重の関係の上に生まれます。

◎5・6月の主な予定

【5月】

20日(月) 朝礼・安全指導

いじめについて考える日

21日(火) 中間考査1日目 ④授業

22日(水) 中間考査2日目 ③全校練習 ④係会議
⑤大規模地震対応訓練*

*【保護者引き取りはありません】

24日(金) 心臓検診(1年) 英検

27日(月) 生徒朝礼 ①全校練習 教育実習始

【6月】 *6月はふれあい月間です。

3日(月) 朝礼・安全指導

いじめについて考える日

4日(火) 運動会予行 ⑤⑥カット

5日(水) 市教研研究授業⑤カット

6日(木) 側わん検診

8日(土) 運動会(弁当)

※雨天延期の場合は授業

10日(月) 振替休業日

13日(木) 運動会予備日(弁当)

14日(金) 教育実習終

17日(月) 生徒朝礼

20日(木) 避難訓練

26日(水) 期末考査1日目 ④授業

27日(木) 期末考査2日目 ④授業

28日(金) 期末考査3日目 ④総合

5組多摩特研球技大会